



Team石川



小中一貫CSだより第25号

平成30年5月25日発行 石川小・中学校 文責（松）

目指す子ども像(15歳の姿)：将来への憧れ・夢・希望・目標をもち、意欲的に学習に取り組み自分の考えや思いを豊かに表現できる子ども

第1回学校運営協議会

5月8日（火）、小学校において平成30年度第1回学校運営協議会が行われました。その概要について報告します。任命書の交付と自己紹介の後、弘前市学校運営協議会規則に則り開催・進行していきましました。

1 開会の挨拶

※弘前市立小・中学校管理規則の改正による小中一貫教育の開始及び学校運営協議会設置通知書によるコミュニティ・スクール開始についての説明を含む。

2 弘前市学校運営協議会規則の確認及び18条に係る申し合わせ事項の提案

※提案した申し合わせ事項；校長が委員に推薦する職、学校運営協議会が役割を果たすために委員が努めることなど

3 会長と副会長の選出

※会長は齋藤輝雄氏（市立石川公民館長）、副会長は齋藤伸造氏（公民館副運営委員長）

4 小学校運営方針説明、中学校運営方針説明及び承認

※弘前市学校運営協議会規則第4条による（教育目標、経営方針、教育課程編成、組織編成に関すること）

5 平成30年度「教育自立圏」構築に係る実践計画及び教育自立圏推進プランの説明及び承認

※平成30年度の取組の重点について（授業づくりの共有化〈「石川スタンダード」あじさいのある授業づくり〉、情報発信の充実、*地域学校協働活動の試行など）

6 「教育自立圏」公開発表会について情報提供

※「ひろさき卍学」「健康教育の推進」に係る授業公開、小中一貫教育とコミュニティ・スクールに係るこれまでの取組についての発表 など

7 小学校いじめ防止基本方針、中学校いじめ防止基本方針の説明及び承認

※いじめに対する基本認識（「どの子にもどの学校にも起こり得る」こと）、未然防止のための取組について など

8 閉会の挨拶

* 地域学校協働活動とは・・・地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。



コミュニティ・スクールに係る取組～小学校～

絵本の読み聞かせ



公民館職員（地域コーディネーター・

学校運営協議会委員もいます。）や学校支援ボランティアの方が、4月から9月までの計5回、朝の10分間を利用して、読み聞かせをしています。

石川音頭の指導



小学校の運動会に向けて、市立石川公民館より3名の指導者が小学校を訪れ指導しています。毎年、運動会では3年生以上の児童と保護者、地域住民、中学生も一緒に踊って、ふるさとの伝統芸能を引き継いでいます。

小学校大運動会大成功

5月20日（日）、運動会が盛大に行われました。前日、前々日の雨でグランド状態がよくなかったため、朝5時頃から、石川少年野球クラブの保護者の方々をはじめ、小学校教職員とPTAが連携・協働して、グランド整備を行い、屋外で実施することができました。当日、弘前市内の小学校では、屋内体育館で実施するところもありましたが、石川では地域コミュニティの力が十分に発揮され、コミュニティ・スクール元年に相応しい大運動会となりました。



岩木山がくっきりと見え、雲一つない運動会日和の日でした。



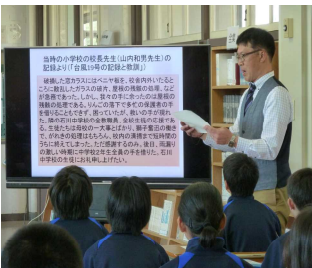
地域の方々も石川音頭に参加しました。

中学校では激励の言葉を掲げました。



「ひろさき卍学」～石川中の歴史～

5月22日（火）、中学校で、松山校長・後藤教諭の連携・協働による「ひろさき卍学～石川中学校の歴史～」の授業が行われました。母校と地域に誇りと愛着をもってもらいたいというねらいの授業でした。（1年・総合的な学習の時間）



小中合同集団下校訓練



5月22日（火）、毎年恒例の訓練が行われました。災害、危険な人物、動物などが原因で安全に帰宅することが困難な場合を想定して行っています。また、同じ地区の児童生徒が互いに顔を確認しておくことも、この訓練の目的です。